

年間授業計画

教科・科目	現代社会 [2] 単位	対象学年・組	3年次 必修
教科書 副教材	「最新現代社会」実教出版 「最新図説現社」浜島書店	教科担任	堀 健太郎 小森 雄太

学習目標	<p>1. 様々な時事問題を取り上げ、現代社会で起きている諸問題について考察するとともに、自己の考えや意見を表明するプレゼンテーション能力を高める。</p> <p>2. 四年生大学や公務員試験などにおける一般教養問題に関する基礎的知識を身につける。</p>
------	--

学期	月	単元	時間	学習内容	学習上の留意点
1学期	4 ～ 7月	○現代の民主政治と日本国憲法 ○青年期と自己の形成		<ul style="list-style-type: none"> 現代国家と民主政治 日本国憲法の基本的性格 日本の政治機構と政治参加 自分らしく生きる 人間としてよく生きる 	<ul style="list-style-type: none"> 選挙権をもつ年齢となったことを念頭に置き、政治のしくみについて興味・関心をもつとともに、政治に関する諸課題を追究させる。 青年期の発達課題を自身の課題として主体的に考察する。
2学期	9 ～ 12月	○青年期と自己の形成 ○わたしたちの生きる社会 ○現代の経済社会と国民生活		<ul style="list-style-type: none"> 人間としてよく生きる 日本人としての自覚 地球環境問題 資源・エネルギー問題 生命科学と情報技術の課題 現代の経済社会と国民生活 日本経済の特質と国民生活 	<ul style="list-style-type: none"> 日本人の文化がどのようにしてつくられたか、考察し、他国の文化との違いについて追及する。 時事ニュースを挙げながら、現代社会の課題を多角的・多面的に考察させる。
3学期	1 ～ 3月	○現代の経済社会と国民生活 ○国際社会と人類の課題		<ul style="list-style-type: none"> 日本経済の特質と国民生活 国際社会の同行 国際経済の動向と国際協力 	<ul style="list-style-type: none"> 時事ニュースを挙げながら、現代社会の課題を多角的・多面的に考察させる。 国際情勢をめぐる諸課題に興味・関心をもち、現代社会の課題を多角的・多面的に考察させる。

評価の 観点・方法	参加：遅刻・欠席等の状況、授業態度
	活動：各自の演習等の状況、黒板での発表（解答）の状況、提出物の状況
	定着：小テスト、定期考査
	その他：以上を総合的に判断する。